

FUTURE SIGNS

by Future Sessions

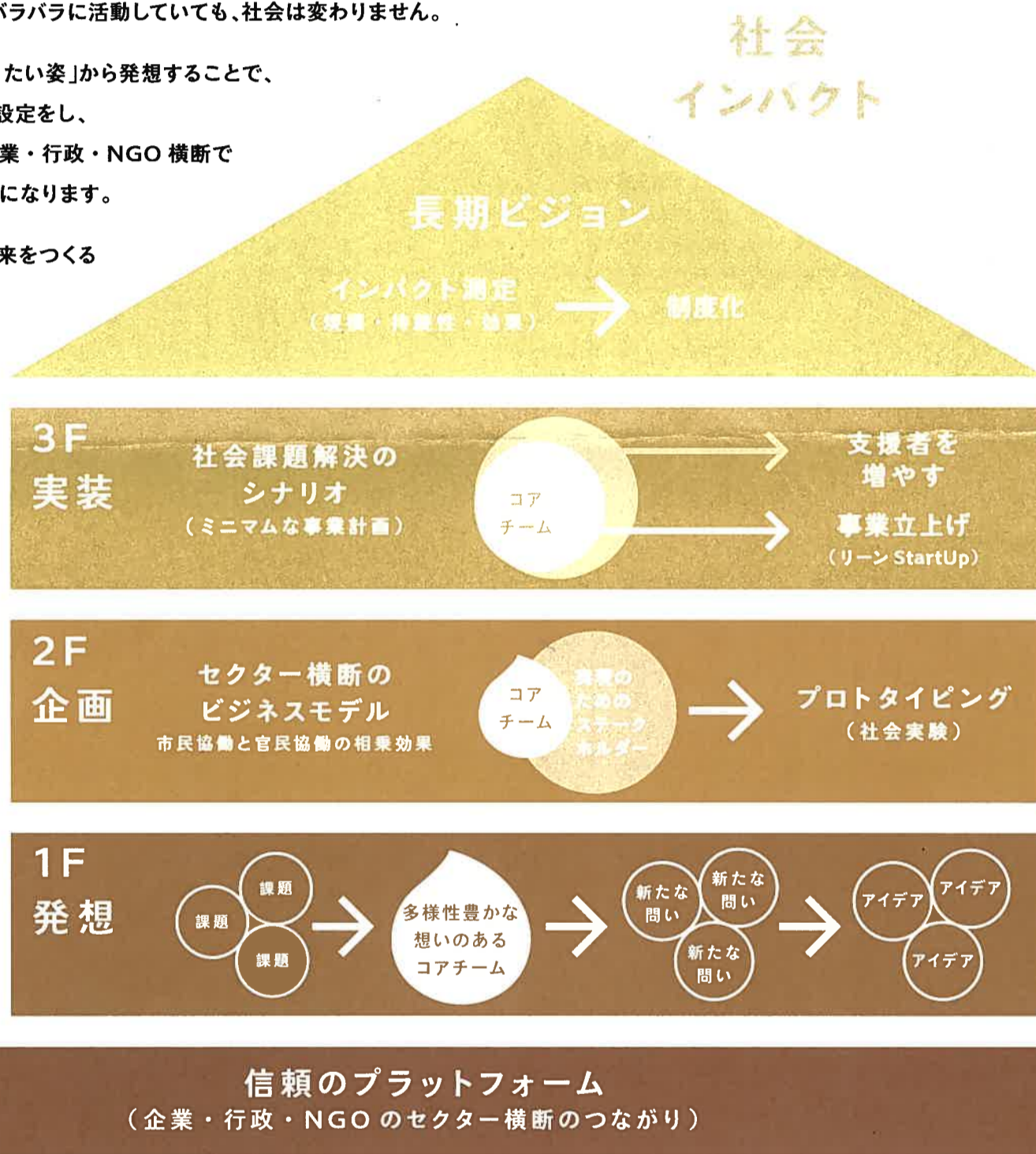
未来をつくる人になろう

未来をつくる人になりませんか？

企業は市場競争、行政は公共事業、NGOはボランティア活動と、それぞれのゲームのルールでバラバラに活動していても、社会は変わりません。

未来思考を用いて「未来のありたい姿」から発想することで、現状の延長とは異なる問いの設定をし、イノベティブなアイデアを企業・行政・NGO横断で実現していくことができるようになります。

あなたも、あなたの組織も、未来をつくるリーダーシップのあり方を体現していきましょう。



企業、行政、NGOのセクター横断の協創で、よりよい社会をつくるイノベーションの時代

フューチャーセッションズでは、クロスセクターでのイノベーションを実現していくプロセスを「3階建ての家」にたとえています。

長期ビジョンを屋根、多様な参加者間の信頼のプラットフォームを土台とし、その間のサンドイッチされたところに、1F、2F、3Fの家の住居部分を築くモデルです。

1Fでアイデアを生み出しますが、このアイデアを企画、実装していく段階においてもクロスセクターの協創がきわめて重要です。創造的なアイデアを持って2Fに上がると、まだ市場の存在しないビジネスの実現に向けて、その成立条件をクロスセクターで埋めていきます。社会実験をプロトタイプすることで、「共有価値が生まれたリアルなストーリー」を獲得します。これを持って、3Fに上がります。3Fでは、社会価値を実現するために、異業種企業の連携や、行政のルール改正を行いながら、支援者を増やします。

3階建ての家のモデルは、めざす頂点と土台がしっかりしているので長期的にぶれずに、社会インパクトを生み出す道筋を与えてくれます。

企業の新事業創造を通して、よりよい未来をカタチにする

コネクト事業

フューチャーセッションズでは、企業に対する未来視点、ステークホルダー視点の戦略構築、能力構築に関わるプロフェッショナル・サービスを提供しています。企業のイノベーションの推進を約束すると同時に、継続的にイノベーションを

起こし続ける組織への変容を支援します。それぞれの企業が持つ社会変革の可能性を引き出し、社会のステークホルダーとの間で「価値をコネクト」するのがフューチャーセッションズの得意技です。

企業の未来を新たな視点で開く「新たな問い」を立て、組織内外の関係者をセッションに招き、未来シナリオづくり、組織開発、商品開発を並行して進めます。

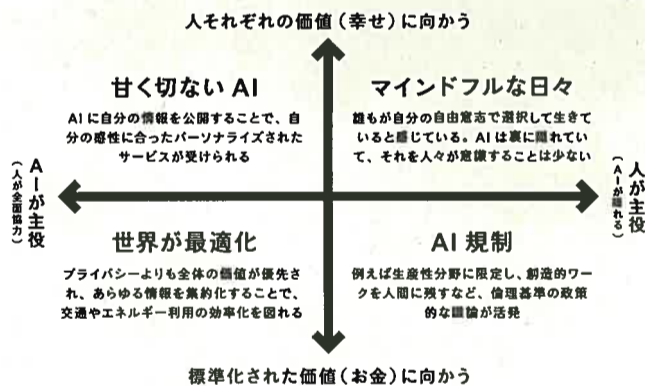
未来構想

問題の複雑性や将来の不確実性が高まるなか、誰もが信じる唯一の将来ビジョンを設定することが難しくなっており、長期的な視点から戦略や計画を立てていくための、具体的な方法論が強く求められています。また、社員参加型の経営など、より民主的な合意形成を求める動きが進むなか、ビジョン共有、グランドデザイン設計など、多様な関係者が参加して未来を生み出すための、信頼性の高い手法が必要とされています。

そこで、複数の異なる「未来シナリオ」を描き、組織的な盲点をなくし、極端な未来が来るものと仮定して、自分たちの新たなビジネスの可能性を探索し、組織的な思考の質を上げていきます。

未来シナリオのサンプル「AI との共生」

未来を描き、そこからバックキャストで、新サービスや組織ビジョンを発想します。



フューチャーセッションで 生み出した「SF 小説」

富士通株式会社テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部は、これからみんなで一緒につくっていくビジネスこそ、わくわくする未来に貢献できるようなものになりたいという思いのもと、さまざまな分野の仲間との対話を通して「SF小説をつくる」という未来思考のビジネス創出プロセスを実践しました。



詳細のプロセス、小説のダウンロードはこちらから。
<http://www.ashita-lab.jp/columns/7537/>



組織開発

フューチャーセッションによる 社員主導の組織開発

AGC 旭硝子 生産技術部では次世代リーダーたち自身がフューチャーセッションを通して、変革ビジョン、価値創造の型、成長のメカニズムを生み出しました。

参加する次世代リーダーは毎年増え、自らが成長する環境を自らつくる、という文化が広がっています。さらに、次世代リーダーたちがファシリテーターとなることで、この活動を一過性のものではない、組織の風土に変えていっています。



商品開発

フューチャーセッションを経て生まれた商品

株式会社Tポイント・ジャパンが進めるTカードの社会価値創造プロジェクト「Tカードみんなのソーシャルプロジェクト」。三陸の漁業活性化を目指すフィッシャーメンジャパンと、Tカードのユーザがフューチャーセッションを通して、未来を描き、新商品を開発しました。



<https://tsite.jp/r/tcardsocial/oyster/>



地域の社会課題解決を通して、よりよい未来をカタチにする

プラットフォーム事業

フューチャーセッションズは、自治体を中心としたクロスセクターの戦略構築、能力構築に関わる仕組みの設計・運用サービスを行なっています。フラッグシップのプログラムである「渋谷をつなげる30人」は、自治体との共同企画により、企業・行政・NGOから選ばれた30名のコアチームを構築し、5ヶ月間かけて地域の未来を社会的ビジネスの力で作りだしていくプログラムです。

渋谷区で2016年度に開始、多くの成果と強いコミュニティを生み出し、2017年にも第2期の30名が発足しました。さらにこの仕組みは各地域に広がろうとしており、「(都市名)をつなげる30人」をProject 30と呼び、海外でも立ち上げに向けた検討が始まっています。国内では川崎市や相模原市などで、Project 30を視野に入れたプログラムがすでに動いています。

誰もがあらゆる地域で
クロスセクターの社会課題解決を
スタートできることをめざした、
"Project 30"と"OUR FUTURES"

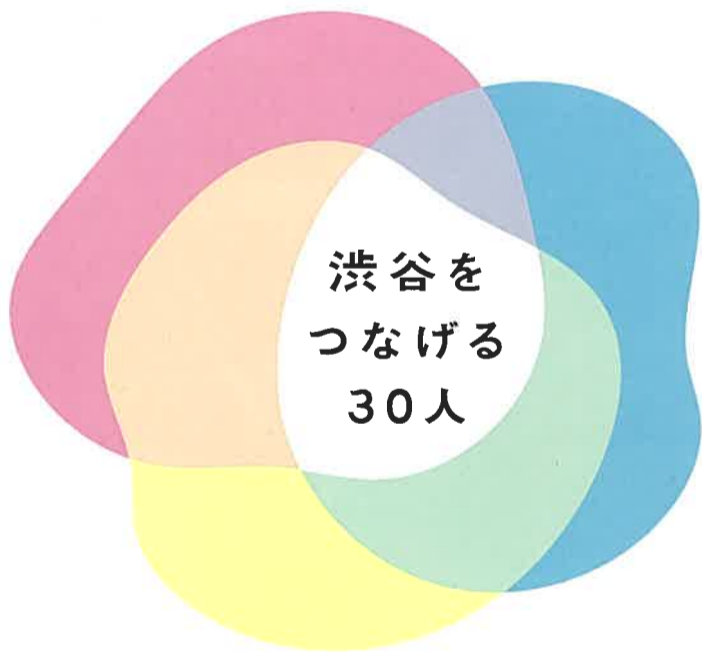
フューチャーセッションズのプラットフォーム事業は、誰もがあらゆる地域で未来づくりをスタートできるよう、方法論、トレーニング、そしてWebシステムを提供します。

協創プログラム

渋谷発、世界の都市へと広がる、Project 30

新たな「問い」と地域からイノベーションを生み出す
新たなプロセス

「渋谷をつなげる30人」は、渋谷区の総合政策「ちがいをちからに変える街。渋谷区」を実現するためのセクター横断の協創プログラムです。渋谷区に関わる企業・行政・NGOから30名が参加し、お互いのつながりを深めながら、主体的に問いを立て、官民連携プロジェクトを約半年かけて立案・実行します。



川崎市「パラムーブメント」を生み出す協創

渋谷発のProject30が、
川崎市でも開始に向けた準備が始まりました。
川崎市の大きなテーマとしては「パラムーブメント」。

パラリンピックを契機に、川崎市のめざす「多様な市民が自発的にまちづくりに関わり続ける状態」に向けたムーブメントを生み出すプロジェクトです。フューチャーセッションズが市役所内のシニア、子ども、障がい者支援、スポーツ、教育、公園などの各部署から「パラムーブメントを生み出す問い」を引き出し、民間企業を招いた「川崎をつなげる30人」へと広がっていきます。全庁から全市に広がるムーブメントづくりを行います。

ファシリテーター育成

京都市 市民との協創を担う ファシリテーターの育成

京都市役所内に、多くの「市民協働ファシリテーター」を生み出すプロジェクトです。イノベーションファシリテーターの手法とあり方を学び、リアルな市民協働テーマでのセッションを経験した職員は、翌年度から「市民協働ファシリテーター」として庁内の、すべての部署の市民協働のハブとなり、活躍していきます。

対話支援システム

対話の輪が広がる OUR FUTURES

OUR FUTURESは、世界中で実施されている、社会に変革を起こすための「場＝フューチャーセッション」を支援し、つなげるためのシステムです。墨田区「すみだ未来会議」や、静岡県牧之原市、広島県福山市、長崎県五島市など、日本全国の市民対話を支える仕組みとして利用されています。



<https://www.ourfutures.net>



フューチャーセッションズ

2012年6月の発足以来、フューチャーセッションズは、クロスセクターでの事業創造、社会課題解決に取り組んできました。「フューチャーセッション」という、未来に向けたアイデアと関係性を同時に生み出す対話の場は日本中に広がり、その推進役である「イノベーションファシリテーター」も数百名に増えています。フューチャーセッションズは、これからもよりよい社会をめざし、同志のネットワークを広げていきます。

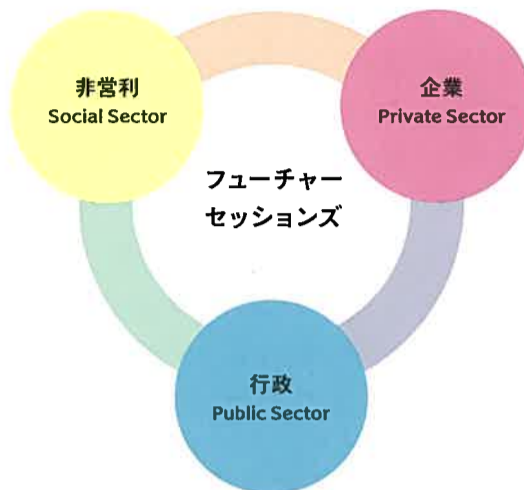


2012年の創業から6年目を迎え、いよいよ全国展開、世界展開を始めます。事業のバリエーションも広げ、私たち自身がイノベーションを起こすファシリテーターとして関わるコネクタ事業に加え、自治体をキーパートナーとして各地域にファシリテーターを育成し、彼ら彼女らの活動を広域的にサポートするプラットフォーム事業を拡大していきます。シェアリング経済時代の今こそ、ファシリテーターのつくる人のつながりが社会を変えると信じています。

野村恭彦(代表取締役)

Mission

すべての人がセクターの壁を越えて
よりよい未来を創れるようにする
そのための革新的な方法論と
サービスを生み出し続ける



FUTURE SIGNS COLUMNS

未来思考を身につけるためのヒントとして、OUR FUTURES で連載している未来洞察の一部をご紹介します。

ファクト予報 #037

事実確認が容易になった社会では、ニュースの受け取り方や発言方法はどうか変わる？

政策の詳細より感情へのアピールが重視される政治文化や災害時の流言・デマによる問題の深刻化によって、事実確認(Fact Check)の重要性が高まってきています。このような状況に対応するために、Googleは自社が提供するGoogleニュースに、Schema.orgを活用するなどして事実確認できたニュースに対してFact Checkタグを付与していくことを発表しています。AI等の進化も組み合わせることで事実確認の効率も飛躍的に高まり、他メディアも追随しそうです。



Fact Check タグが浸透していくことで、テレビや新聞などのいわゆるメディア組織による番組やニュース記事だけでなく、企業のプレスリリースや商品のコマーシャル、FacebookやLINEのようなSNSでの個人の発言にもタグが付与されていく可能性があります。デマ拡散や非難・批判などのコメントが殺到するような炎上を防いだり事実確認率を見える化したサービスが創出される一方、事実確認疲れから自由奔放に放談できるようなサービスも生まれ、今以上に人々は場によって発言を使い分けるようになっていくかもしれません。

メイド・バイ・ヒューマン #040

人工知能が創造性を獲得したときに、あなたは何を創造している？

人工知能によって作曲されたバッハ風の音楽が、プロの音楽家もバッハ作曲と勘違いしてしまう精度になってきているようです。今後は音楽だけでなく、小説や映画などを作成する人工知能の能力も飛躍的に向上していきそうです。一方、新しいアイデアを生み出す創造性を企業が過度に強調する近年の風潮を懸念し、多くの企業に求められるのは既存アイデアを改善する知性や判断力、これらのアイデアを試行錯誤しながら売場に変える決意を持った人材だという意見もあります。



そもそも私たち人間に求められる創造性とは何かといった対話も多くなされ、人工知能と人間の役割分担もより細かくなっていき、企業等での働き方も大きく変わっていきそうです。人工知能と人間が生み出す創造物との区別がますますつかなくなりそうだからこそ、「人間によって作られたもの」の価値が上がったり、多くの人のニーズを満たす商品アイデアは人工知能が生み出すようになるからこそ、純粋な個人的欲求や経験・学びを伝えるような、特定の人に向けて何かを創造するというのは一種の趣味のような活動として見なされるようになっていくかもしれません。

平時も有事も安心な食 #041

安心なまちでは、どんな食環境になっている？

首都直下地震の最大想定被害者数は東日本大震災(47万人)の15倍、南海トラフ地震では20倍にもなり、必要な食品を確保できなくなるとも言われています。災害食の備蓄が求められていますが、卵や牛乳、大豆、そばなど、いろいろな食物アレルギー反応を示す子どもや成人は増えてきており、アレルギーがある人でも美味しく食べられる災害食も増えてきているようです。また、イスラム教徒(ムスリム)は食生活に関して豚肉や豚由来の成分、アルコールの摂取ができず、ムスリムの人たちが食べることを許されるという意味の「ハラールフード」という言葉の認知度が広がってきています。日本では食品の具材や調味料などに含まれていて識別しにくいものが多いことが悩みの種だったようですが、安価で簡易な食肉の識別検査キットも開発されたり、ハラールフードを売りにする食材店やレストランも増えてきたりしています。



安心とは災害に強い建物や犯罪等に対する見守り・助け合いのコミュニティの存在だけでなく、アレルギーフリーの食やハラールフードを備える食材店やレストラン、災害食の備蓄が普通になっていることが「安心なまち」の代名詞になっているかもしれません。



渋谷 if space

フューチャーセッションズは、2017年6月に、渋谷3丁目に本社を移し、30から40人規模でフューチャーセッションが開催できるフレキシブルな空間を構築しました。



渋谷本社・渋谷 if space
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷3-10-5 TOHTAMビル4F

表参道スタジオ
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-12-7 CULTURE 表参道2F

FUTURE SIGNS 01
2017年11月16日発行
発行元 株式会社フューチャーセッションズ
<https://www.futuresessions.com>

渋谷をつなげる30人
2017年度 第2期



渋谷を つなげる 30人

志高き多様性ある 30人が集まれば、 都市を変えることができる

「渋谷をつなげる30人」プロジェクトは、基本構想「ちがいをちからに変える街。渋谷区」で掲げる20年後の渋谷区の未来像を実現するために、渋谷区の企業・行政・NPO・市民の30名が参加し、連携して「つながり」を深めながら、課題達成のためのビジネス活動を約半年かけて立案・実行する、まちづくりプロジェクトです。

第2期では、不動産事業者と行政が協働して区内の遊休スペースの社会的活用をめざしたり、公園通りから原宿・表参道にかけて商業や不動産業を営む多様なメンバーたちが、銀行やNPO、行政とも協働して、まちやストリートの価値を高める企画を生み出すなど、このメンバーでなければできないプロジェクトを多数生み出しています。

主催：株式会社フューチャーセッションズ 協賛：渋谷区 協力：ecloo(スイス) / NPO法人ETIC. / NPO法人グリーンズ / 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(SDM) 神武直彦研究室 / サッポロホールディングス株式会社 行政・市民メンバー：一般社団法人at Will Work / NPO法人ArrowArrow / 認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ / 渋谷区役所 / 渋谷センター商店街振興組合・宇田川町会 / NPO法人全国福祉未来ネットワーク / 一般社団法人Think the Earth / 代官山商店会 / NPO法人東京少年少女センター(五十音順) 企業メンバー：エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 / GIFTED AGENT 株式会社 / 株式会社京王興産 / 京王電鉄株式会社 / 株式会社置花 / 東京ガス株式会社 / 東急不動産株式会社 / Nei-Kidプロジェクト / 株式会社バルコ / 株式会社フロンティアインターナショナル / ボッシュ株式会社 / 株式会社みずほ銀行 / みずほ情報総研株式会社 / 株式会社ラフォーレ原宿(五十音順)

未

「それぞれの成長を、一生」



財津 典央
株式会社京王興産



勝亦 真歩
NPO 法人
東京少年少女センター

コミュニ

小学生を対
カードなどのツ

子育て
教育
生涯学習

それぞれの成長を、
一生よろこべる街へ。

福祉

あらゆる人が、
自分らしく生きられる街へ。

健康
スポーツ

思わず身体を
動かしたくなる街へ。

防災・安全
環境・エネルギー

人のつながりと意識が
未来を守る街へ。

空間と
コミュニティの
デザイン

愛せる場所と仲間を、
誰もがもてる街へ。

文化
エンタテインメント

あらたな文化を
生みつづける街へ。

産業振興

ビジネスの冒険に
満ちた街へ。

渋谷区基本構想

ちがいをちからに変える街

spoppy

「思わず身体を動かしたくなる街」及び「人のつながりと意識が未来を守る街」を
具現化する渋谷のスポーツクリエイションプロジェクト

問い

地域に関わる人をスポーツを通じてつなげ、
運動不足解消や防災時の
コミュニティ形成をしていくには？



蒲 友香里
京王電鉄株式会社



今井 桐衣
渋谷区役所

プロトタイプ企画

ササハタハツ(笹塚・幡ヶ谷・初台)・恵比寿・代官山エリアにて、
スポーツクリエイションイベントを開催。
その後、おとなりサンデーや防災フェスなどの
区の取り組みと連携していく。



小林 啓太
株式会社バルコ

Orange Drinks

「愛せる場所と仲間を、誰もがもてる街」を
具現化する原宿地区・ササハタハツ地区での
コミュニティ活性化プロジェクト

問い

まちづくりや、つながりに興味はあるけど
自分からは参加しづらい人たちにとって
参加しやすい企画とは？



中嶋 英仁
京王電鉄株式会社



寺敷 崇弘
株式会社みずほ銀行

プロトタイプ企画

ササハタハツ(笹塚・幡ヶ谷・初台)エリアにて、
独自の交流促進型名刺を活用しながら、
笹塚ポウルでの企業対抗ボーリング大会を開催する。



福島 梓
一般社団法人
at Will Work

渋谷

「あらたな文化



関口 冬樹
東急不動産株式会社



久米 隼
NPO 法人
全国福祉未来ネットワーク



堀江 由香里
NPO 法人
Arrow Arrow



富沢 真衣
株式会社バルコ

来のシゴト図鑑

子どもと大人がともに創る気づきの日〜
「よこべる街」を具現化する渋谷区のワーカーとこどもの共創プロジェクト



笹尾 実和子
一般社団法人
Think the Earth



神谷 涉三
Nel-Kid プロジェクト

問い

渋谷区を、大人と子どもが対等に交流し、
「シゴト」を通してお互いが向上する街にするには？

プロトタイプ企画

区内に、区内在住・在勤の社会人との 1on1 の対話を通して
「来」を活用しながら、「未来のシゴト図鑑」を作成するイベントを
「Plug and Play Shibuya」で実施。



土方 洋介
東京ガス株式会社



宮地 英治
みずほ情報総研
株式会社



河崎 純真
GIFTED AGENT
株式会社

資産活用

~You Make Place, You Make SHIBUYA~

「ビジネスの冒険に満ちた街」を具現化する
遊休資産などを活用した
シェアリングエコノミー推進プロジェクト

問い

もっと自由に、渋谷区の公園や道路、空き
店舗や空家、企業の会議室や公開空地で
企画を実施できるようにするには？

プロトタイプ企画

渋谷区と連携し、公開空地でのフリースロー
大会の実施や、センター街の
街路灯広告を活用し「渋谷区客引きしな
い宣言店」のPRを実施。



鈴木 大輔
渋谷センター商店街振興組合
宇田川町会



山崎 和希
渋谷区役所



伊藤 秀俊
東急不動産株式会社

ちがいを仲間に

「あらゆる人が、自分らしく生きられる街」を具現化する
地域通貨発行及びボランティア活動活性化プロジェクト

問い

「ちがいをちからに変える街、渋谷区」を
実現するために、互いのちがいを理解し、
仲間にする必要な仕組みとは？

プロトタイプ企画

地域清掃活動「グリーンバード代官山」に、
多様な方を招き入れ自然に交流したり、
「つながり」を可視化・価値化するための、
地域 SNS や地域仮想通貨を立ち上げる。



高橋 篤子
株式会社薫花



矢野 美知代
代官山商店会

- 企業
- NPO / 市民
- 行政

D&I アート・トリエンナーレ

「生き生きする街」を具現化するダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト

問い

渋谷が、あらたな文化を生みつけ、
大人が楽しいと思う街になるにはどうすればいいか？

プロトタイプ企画

公園に誇りを持ち、通りを魅力化するために、
ダイバーシティ&インクルージョンをテーマにした
アートトリエンナーレを企画し、東京都の文化公募企画に応募。



森 泰士
ポッシュ株式会社



本間 久美子
エヌ・ティ・ティ
都市開発株式会社



松中 権
認定 NPO 法人
グッド・エイジング・エールズ

渋谷をつなげる30人 発起人 & プロデューサー



野村 恭彦



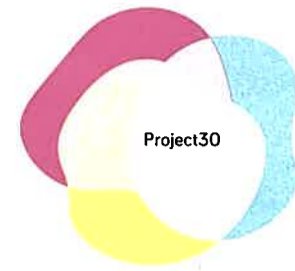
安東 直美



加生 健太郎

Project 30 プロセス

Project30は、渋谷をつなげる30人の手法を
世界のあらゆる都市に広げるために構築されるフレームワークです。



Join

30 人に加わる



Listen

お互いに傾聴する



Ask

新たな問いを立てる



Collaborate

セクターを超えて協働する



Transform

自らが変わる



Day 1

ビジョニングセッション

イントロに加え、行政トップ層からの地域課題ブリーフ、
公民連携やデータサイエンスを学ぶ



Day 2

ファシリテーション実践研修

各自の関心テーマで15分セッション開催



Day 3

テーマチームごとのセッション開催

課題毎にチームをつくり、45分セッション開催



Day 4

プロトタイピングセッション

各チームのプロジェクト提案とチーム横断議論



Day 5

オープンセッション

各チームによる外部ステークホルダーを20人程度ずつ
招いての公開フューチャーセッション開催



Day 6

ビジネスモデルセッション

各チームのプロジェクト企画提案と、30人全体による
横断プラットフォームの検討



Day 7

プランニングセッション

組織内外のステークホルダーへの働きかけ検討

レポーティングセッション

区長・副区長、各参加者の所属団体の長を招いてのアクション宣言により、企業・行政・NPOの協調アクションを推進